

ピンチヒッター森本の中国通信

変化の時代へ！！



いつもお世話になります。

3/28に厦門から帰国したばかりの森本です。

冒頭の写真は、ホテルから厦門の街を撮影したものです。手前の古い集合住宅と、遠くに見える高層ビルのコントラストが象徴的で気に入っています。

今回もいろいろな**“変化”**を感じた出張でしたので、ホヤホヤの情報をお届けしたいと思います。

① 厦門空港の通関時に指紋採取が必要になりました

日本では以前から外国人の通関時には指紋採取を行っていたのですが、いよいよ中国でも今年から実行されるようになりました。2月の深圳に続き、3月は厦門や天津でも試験運用が始まり、その後全国的に展開していくようです。

まず初めに左手の親指以外4本、次に右手の親指以外4本、最後に両手の親指2本、「4・4・2」の要領で指紋をガラス面に押し付けます。

正直言って以前と比べて時間がかかりますし、面倒くさいですが、「IS(イスラム国)」が中国政府に対し敵対する発言をしたという報道もありますし、9月のサミットに向け安全面を強化していくのは自然な流れなんでしょう。

ただ外国人窓口をもう少し増やしてもらえたら、ありがたいです。

② 石材業界に対する規制強化の流れ

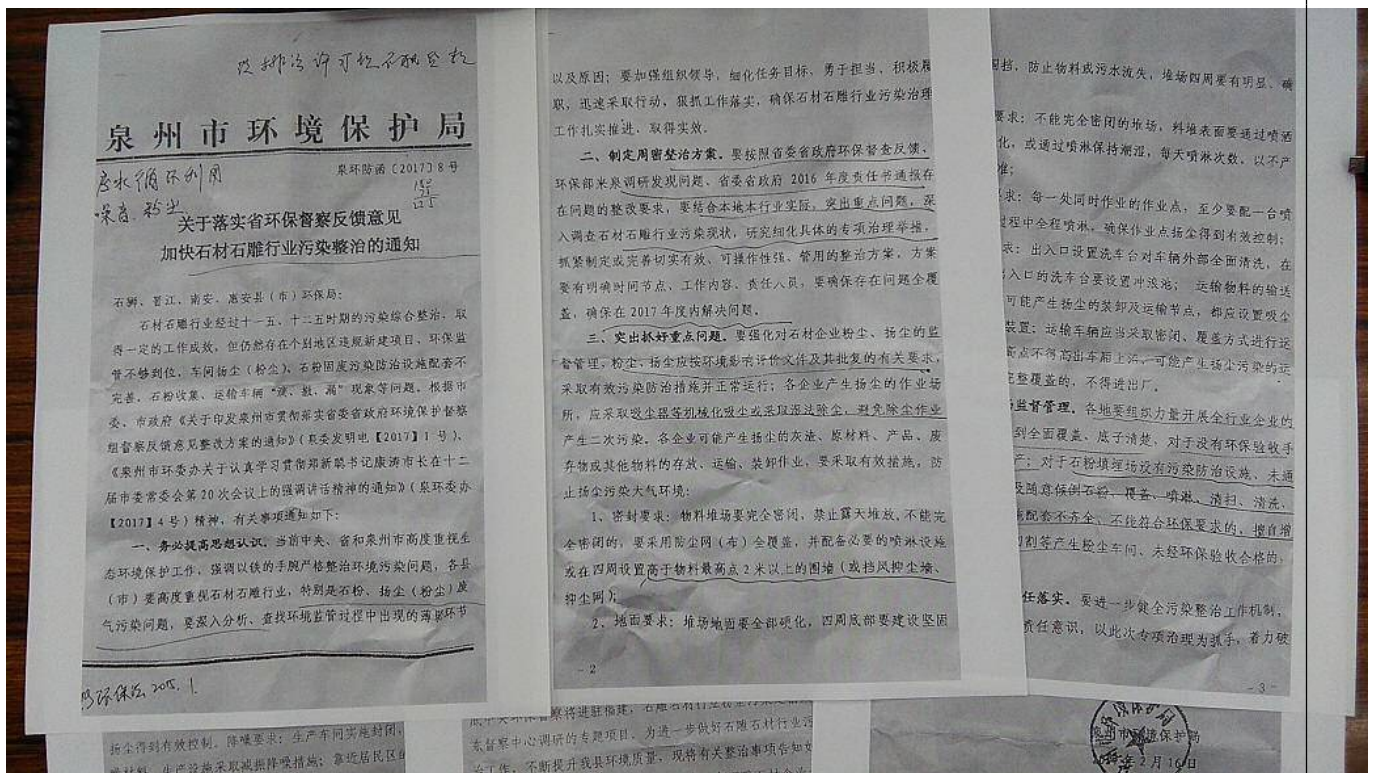
これまでの規制というと主に石材の採掘地に対するものでしたが、いよいよ工場にも厳しい規制がかかりそう、という話題です。

去年後半から今年にかけて、河北省や山東省、福建省内の羅源や龍岩という地域で、地元の石材工場が閉鎖されているという情報が入ってきていましたが、**おそらく今年9月の厦門サミット開催を受けて、福建省内でも規制強化を行っていくようです。**実際にはこれまでも規制自体は存在していたのですが、今回は中央政府の肝煎いなので逃げられないだろうというのが、現地で聞いた声です。

主な対象は、騒音・排水・石粉・塵肺などの職業病で、崇武や南安各地において、現在進行形で研究会が開かれております。文面通りだと「加工場は完全に密封し

なければならない」「原石置き場も2m以上の壁で囲わなければならない」「従業員のマスクは〜〜」「屋内／屋外スプリンクラーは〜〜」など要求が多岐にわたり、現実的に対応できるのか未知数で、施策の実働部隊である地元政府がどれくらい本腰を入れるのか、みな固唾を呑んで見守っているというのが現状になります。

おそらく6月以降に実態が見えてくると思われますので、どのような変化があるのか、今後も追跡調査を続けたいと思います。



③ スマートサイクルとスマートカラオケ？

前回のメルマガでも書きました「スマホを用いたレンタル自転車」が大流行りです。猫も杓子もシェアライドです。30分＝1元という安さ、どこでも乗り捨てOKという手軽さから、廈門以外でも大きな都市では続々導入されているとのこと。

仮定ですが、例えば廈門での初期投資が自転車1台300元×1万台として、300万元(約5000万円)。

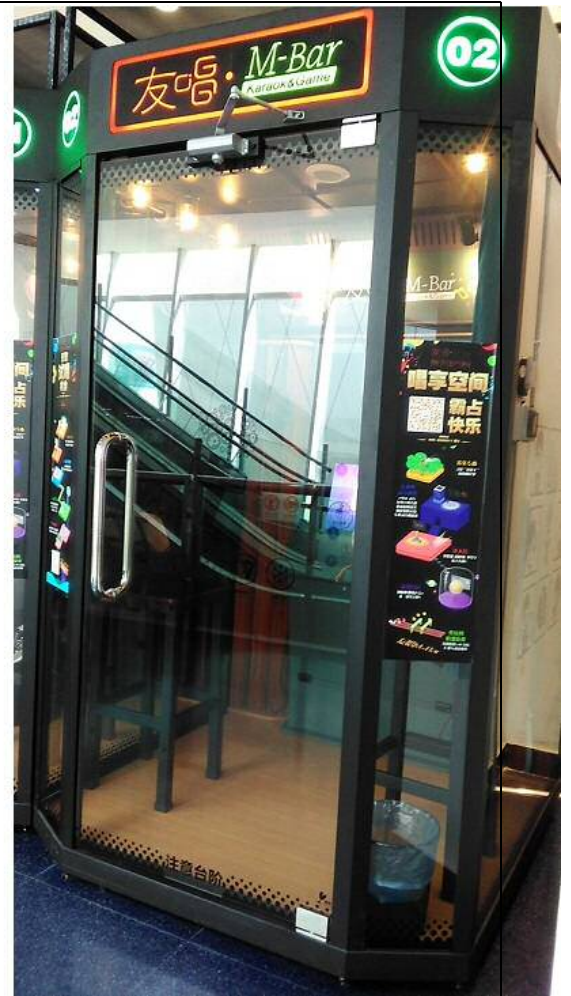
1日の平均回転数が1台10回転として、10元×1万台で10万元(約160万円)。修理費用や盗難などを考えても、2~3か月で回収できるんだろうなと思います。

一方で、放置自転車が問題になっており、近々なんらかの規制が出てくるだろうと予測されていますが、この「問題起きるのは予想できてたけど、規制前にやっちゃえ！」というスピード感が中国らしくて素敵です。

また、同じく廈門のショッピングモールで、「一人用カラオケボックス」なるものも見しました。

こちらもスマホをかざしてお金を払います。BOX内とはいえ、人通り多いところで熱唱する勇気がありませんでしたので、実際には試していませんが、若者がけっこう利用しておりました。利用後、自分の歌をスマホでダウンロードできる機能もあるようです。

中国では、このように食事、交通、娯楽、チップまで、なんでもかんでもスマホで決済するのが一般的になってきています。現地で銀行口座を持っていない外国人にはちょっとハードルが高いですが、ネットで探すと何か方法があるようですので、そのうち試してみたいと思います。



中国に行く前は花粉症でしばらく嗅覚なかったんですが、中国に着いた途端に匂いが復活したので、良かったというより日本に適應できていない自分に愕然とした森本でした。

また来月も宜しくお願いいたします。

2017/4/1 森本